

○縣政と勤勞階級の手への無産者負担の悪税を全廢せよ○農民運動彈圧干渉反対○耕作確立、小作料引下げを基調とする小作法制定の窮乏農民に生産資金と出せ○勤勞農民借金の支辨猶予○生産農民を苦しめる穀物検査撤廢○農民の税金を引下げる○肥料、電燈料即時値下、資本家の独占價格反対○出征兵士、在營兵士家族の生活と國家で保証せよ

以上の本部方針に対し滿場一致ニ礼を可決した

而して尚本方針決定後各地選出議員出馬予定者と各地代表が報告したが、全農(社大関係者とも含む)を背景として各地で出馬する予定者は左の如くであつた。

- 岐阜一名 長野一名 秋田二名 福島一名 青森一名乃至二名 宮城一名
- 新潟四名 栃木二乃至三名 高知二名 福岡二名 大阪一名 奈良三名
- 岡山三名 三重一名 山梨一名

因に本中央委員會に於ては翌八月一日左記の決議文を作成して杉山委員長、外全委員が各関係當局を歴訪陳情をなした。

決議

最近各地方官憲は小作料減免その他小作問題に積極的に関與する態度をとつて居る。或る町村に小作争議防止委員會の設置を強制し或は小作人と警察署に呼びつけ警察隊を強制或は農民組合を排撃し脱退を強要する等である。全農村の窮乏貧農の生活上の要求を無視してひたすら官憲の彈圧に因つて當面の解決を固り自己の功績を競はんとする状態である。

小作問題に關して既に小作調停法がある。然るにこの調停法を官憲自らもその無力さと承認せねばならぬ状態に接し乍ら更に小作立法に因る方策を求めずして警察的見解によつて処理せしめんとするが如きは正に時代と逆轉せる警察行政の強と云ふべきである。吾が全農は小作問題に關して斯の如き政府の干渉、強制、彈圧政策に対して別記の如き実例を挙げて反対す

内務大臣宛

決議

最近小作争議は逐年的に激増し、依然として農民貧困を増大して居る。この時に當つて従来わが全國農民組合が絶対反対せる立入禁止仮処分、小作調停條項による土地取上を依然として執行されつゝあることは農村の現